

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年7月5日

派遣決定番号

報告回次

1日目

### 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	黒崎小学校 (鳴門市)		代表者名	猪子 研司
担当者部署	6年		連絡先電話番号	0886862243
担当者役職	教諭	担当者氏名	藤倉 紘衣	連絡先E-mail
住所	772-0001 徳島県鳴門市撫養町黒崎字宮津88-1			

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中川 斉史
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	実際に先進校で勤務されておりその実践内容を聞くことができたので大変勉強になりました。また、授業において校正という部分でやり方がわからなかったところを詳しくスライドを提示していただきながら教えていただきよくわかりました。そこで、自分の中での修正部分や改善策が見つかったので、今後の授業に生かせるのではないかと思います。さらに、教職員の中での意識の違いなどをどう解決していくかをヒントをいただいたり、実際の研修の様子などを伺うことができたので勉強になりました。それをできる形で本校でも実践活用できるようにしたいと思います。ありがとうございました。
アドバイザーへの要望事項	これからの実践を進めていく中で、適宜アドバイスをいただけるとありがたいです。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年6月30日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			13時30分	16時30分	15
			活動時間 (分)	165	
3-2. 派遣場所	会場名	鳴門市黒崎小学校	最寄駅	鳴門駅	
	所在地	鳴門市撫養町黒崎字宮津88-1	最寄駅からの交通手段	バス10分	

#### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	小学校教員	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	①昨年度の1学期からタブレット端末を用いての授業が展開できる状況であるが、本年度転入された教員の中には、初めて活用する教員もいるため、教員間での利用頻度や使い方の格差がでている現状がある。 ②互いの授業を見に行く機会が少ないため、ICTを活用することで子どもたちにとって有効であることや様々な活用法を知る機会が少ないこと。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰であってもタブレットパソコンを活用して一日のうちの1時間は授業を行えるように、教職員の意識を高めること。</li> <li>ICTを活用することが最終のめあてになるのではなく、効果的に使えるようにすること。</li> <li>どの学年においても、学年相応の情報活用能力がつくように指導できるようにすること。</li> <li>教職員間において活用事例を増やすこと。</li> </ul>	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	授業についての助言:きちんとモデルを示すことの大切さや校正をするにあたっての視点を絞ることの重要性がよく分かった。また、ICTは話をするためのツールであることにも気づかされた。タブレットを持つことで「話したくなる。聞きたくなる。」ような授業展開をしていくことが必要であると感じた。 <small>職員間における意識やスキル差について、研修主任として率先して授業を公開して使い方の例示</small>	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職業向においての意識やスキルの変化について、研修上はしっかりと準備して授業を公開して使い方の細かいことを示していくことや研修において使う場面を必然的に設ける機会をもつことの大切さを学んだ。 どうやってICTを使うかではなく、ゴールに向かう過程でよりよい方法の一つとして上手く活用できるように考えていく必要があると感じた。もっとタブレットを鉛筆や紙と同じように道具として使えるように子どもたちに浸透させていきたいと思う。 教職員の研修では、自分が率先して授業を展開させて全体でブラッシュアップしていけるようにしたいと感じた。今回の研修で、他校の様子を知れたので、先生方の中でも意識が上がった部分があったように思う。今回をきっかけとして活用する場面を増やした研修にしていけるようにしていく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	効果的な指導法については、今後も授業を行う中で、高めていく必要がある。適宜、研究授業を行いそのスキルを磨いていきたい。 活用事例については、様式は決定したのでそれぞれの教員が実践した内容を書き溜めて年度末には成果物として完成させたいと思っている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 授業研究会のためにアンケートは行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの教員であってもタブレットパソコンを上手く活用して授業ができる。</li> <li>活用事例を校内でまとめる。</li> </ul>	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



